

様式第1（第3条関係）（表面）

特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）設置（~~使用、変更~~）届出書

〇〇年〇〇月〇〇日

必ず記入すること

栃木県〇〇環境森林(管理)事務所長 様

該当する事項以外を抹消する

届出者 氏名又は名称及び住所並びに
法人にあってはその代表者の氏名
(電話番号) 〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 〒〇〇〇-〇〇〇〇

特定施設を設置する
工場名等を記入する

〇〇株式会社
代表取締役 〇 〇 〇 〇
TEL〇〇〇〇-〇〇-〇〇〇〇

注)届出代理者が提出者となる場合はp 2の3(3)参照

水質汚濁防止法第5条第1項、第2項又は第3項（第6条第1項又は第2項、第7条）の規定により、
特定施設（~~有害物質貯蔵指定施設~~）について、次のとおり届け出ます。

工場又は事業場の名称	(ふりがな)〇〇〇〇 〇〇株式会社〇〇工場	※整理番号	
工場又は事業場の所在地	〇〇市〇〇町〇〇-〇〇 〒〇〇〇-〇〇〇〇	※受理年月日	年 月 日
第5条第1項関係	特定施設の種類	65酸又はアルカリによる表面処理施設	※施設番号
	有害物質使用特定施設の該当の有無	有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 <input type="checkbox"/>	※審査結果
	△特定施設の構造	別紙1のとおり。	※備考 本県は別紙5不要 (総量規制)
	△特定施設の設備（有害物質使用特定施設の場合に限る）	別紙1の2のとおり。	
	△特定施設の使用の方法	別紙2のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙3のとおり。	
	△排出水の汚染状態及び量	別紙4のとおり。	
	△排出水の排水系統別の汚染状態及び量	別紙5のとおり。	
△排出水に係る用水及び排水の系統	別紙6のとおり。		
第5条第2項関係	有害物質使用特定施設の種類		該当する事項以外を抹消する
	△有害物質使用特定施設の構造	別紙7のとおり。	
	△有害物質使用特定施設の使用の方法	別紙8のとおり。	
	△汚水等の処理の方法	別紙9のとおり。	
	△特定地下浸透水の浸透の方法	別紙10のとおり。	
	△特定地下浸透水に係る用水及び排水の系統	別紙11のとおり。	

様式第1（裏面）

該当する事項以外を抹消する

第5条第3項関係	有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別	<input type="checkbox"/> 有害物質使用特定施設 <input type="checkbox"/> 有害物質貯蔵指定施設	↓	↘
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の構造	別紙12のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の設備	別紙13のとおり。		
	△有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の使用の方法	別紙14のとおり。		
	△施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統又は施設において貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統	別紙15のとおり。		

- 備考
- 1 特定施設の種類の欄及び有害物質使用特定施設の種類の欄には、令別表第一に掲げる号番号及び名称（指定地域特定施設にあつては、名称）を記載すること。
 - 2 有害物質使用特定施設の該当の有無の欄には、該当するものにレ印を記入すること。なお、有害物質使用特定施設に該当しない場合には、別紙1の2を提出することを要しない。
 - 3 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別の欄には、該当する施設にレ印を記入すること。
 - 4 △印の欄の記載については、別紙によることとし、かつ、できる限り、図面、表等を利用すること。
 - 5 ※印の欄には、記載しないこと。
 - 6 排水水の排水系統別の汚染状態及び量については、指定地域内の工場又は事業場に係る届出書に限って欄を設けること。
 - 7 変更届出の場合には、変更のある部分について、変更前及び変更後の内容を対照させること。
 - 8 届出書及び別紙の用紙の大きさは、図面、表等やむを得ないものを除き、日本産業規格A4とすること。

〔別紙記載事項〕

1枚の用紙に2施設分の記入ができる。別紙1～6において、同一別紙が2ページ以上になる場合、例えば3施設の場合にはページ右肩に別紙1 (No1/2)、別紙2 (No2/2)のように記入する。また、変更届の場合については変更前後の状況を記入することが望ましい。

1 別紙1(特定施設の構造)

(1) 工場又は事業場における施設番号

当該工場又は事業場内の全施設のうちから当該特定施設を特定するために当該工場又は事業場において用いている番号、名称を記入する。

(2) 特定施設の番号及び名称

令別表第一に掲げる項目の番号及び名称を記入する。

(3) 型式

自動、半自動、手動の別並びに当該施設の製造業者名、種類、名称、型式等を記入する。

(4) 構造

コンクリート製、コンクリート製塩ビ張り等の構造の種類を記入する。

(5) 主要寸法

特定施設の大きさの概略（○m×○m×○m又は○m³）等を記入する。

(6) 能力

特定施設の生産、加工又は処理能力について記入する。

(7) 配置

特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記入する。

(8) 設置、工事着手予定、工事完成予定、使用開始予定年月日

特定施設設置届出（新規）、特定施設の構造等変更届出（変更）にあつては、工事計画に基づき記入し、特定施設使用届出にあつては、使用開始予定を使用開始と訂正して実際に稼働した年月日を記入する。

(9) その他参考となるべき事項

特定施設の構造について参考となるような事項を記入する。

有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記入する。（防液堤については、容量を記載）

(10) 添付書類

当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置図

別紙1

特定施設の構造

工場又は事業場における施設番号	洗浄工程 表面処理施設(A-1)	洗浄工程 表面処理施設(A-2)
特定施設番号及び名称	65酸又はアルカリによる表面処理施設	65酸又はアルカリによる表面処理施設
型式	〇〇社製△△型 全自動タイプ	〇〇社製〇〇型 全自動タイプ
構造	鋼鉄製・塩ビ被膜 構造図は資料〇のとおり	鋼鉄製・塩ビ被膜 構造図は資料〇のとおり
主要寸法	タテ × ヨコ × 高さ (〇〇m × 〇m × 〇〇m)	タテ × ヨコ × 高さ (〇〇m × 〇m × 〇〇m)
能力	△△kg/日	〇〇kg/日
配置	〇〇棟 1階 防液堤内に地上設置 配置は資料〇のとおり	〇〇棟 1階 防液堤内に地上設置 配置は資料〇のとおり
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	〇年 〇月 〇日	〇年 〇月 〇日
工事完成予定年月日	〇年 〇月 〇日	〇年 〇月 〇日
使用開始予定年月日	〇年 〇月 〇日	〇年 〇月 〇日
その他参考となるべき事項	<ul style="list-style-type: none"> ・床面は、厚さ〇〇cmのコンクリート ・周囲は、側溝を設け流出を防止 ・主要製品名：自動車部品 ・特定施設担当者： 製造課 〇〇〇〇 	同左

備考 1 配置の欄には、当該特定施設及びこれに関連する主要機械又は主要装置の配置を記載すること。

2 その他参考となるべき事項の欄には、当該特定施設が有害物質使用特定施設に該当する場合には、施設の床面及び周囲の構造等を記載すること。

〔有害物質使用特定施設届出書関係〕

2 別紙1の2(有害物質使用特定施設の設備)

- (1) 工場又は事業場における施設番号、特定施設の番号及び名称、主要寸法、設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日

別紙1と同様に記入する。

(2) 設備

施設に付帯する配管、排水溝等の名称を記入する。

※設備の例 配管、継手類、フランジ類、バルブ、ポンプ設備、排水溝、排水管、排水マス

(3) 構造

設備の材質や漏洩防止装置、検出装置の有無を記入する。

(4) 配置

設備の配置を記入するとともに、地下に設置される場合は、その旨を記入する。

(5) その他参考となるべき事項

ア 有害物質を含む水が流れない場合には、構造等に関する基準が適用されないため、その場合は、当該欄に記入する。

イ 地下配管（トレンチ）の場合は、構造を記入する。

ウ 地下配管（埋設）の場合は、漏洩確認の場所及び方法について記入する。

別紙1の2

特定施設の設備

工場又は事業場における施設番号	B-1	B-2
特定施設番号及び名称	65 酸又はアルカリによる表面処理施設	66 電気めっき施設
設備	地上配管、排水溝、ためます	排水溝
構造	①配管 ステンレス製 ②排水溝、ためます コンクリート製、厚さ50mm	コンクリート製、厚さ50mm
主要寸法	①配管 直径100mm×30m ②排水溝 幅300mm×深さ200mm×10m ためます 500mm×500mm×400mm	幅300mm×深さ20mm×3m (途中でB-1の排水溝と合流)
配置	めっき工場1階 (配置は資料○のとおり)	めっき工場1階 (配置は資料○のとおり)
設置年月日	年 月 日	年 月 日
工事着手予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
工事完成予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
使用開始予定年月日	○年 ○月 ○日	○年 ○月 ○日
その他参考となるべき事項		

- 備考 1 有害物質使用特定施設に該当しない場合には、本様式を提出することを要しない。
- 2 配置の欄には、当該特定施設の設備の配置を記載すること。

3 別紙2(特定施設の使用の方法)

(1) 工場又は事業場における施設番号

当該工場又は事業場内の全施設のうちから当該特定施設を特定するために当該工場又は事業場において用いている番号、名称を記入する。

(2) 特定施設の番号及び名称

令別表第一に掲げる項目の番号及び名称を記入する。

(3) 設置場所

特定施設の場所を記入する。(図面可)

(4) 操業の系統

特定施設を含む操業の系統(フロー図)を記入する。

(5) 使用時間間隔

連続、1日3回、9時～10時及び13時～15時等と記入する。

(6) 1日当たりの使用時間

1日当たりの使用時間を通算し、24時間、8時間等と記入する。

(7) 使用の季節的変動

使用方法に季節的変動がある場合に記入する。

例) 冬期(12月～2月)は使用せず

(8) 原材料(消耗資材を含む)の種類・使用方法及び1日当たりの使用量

特定施設を含む作業工程において使用する原材料について記入する。

(9) 汚水等の汚染状態

特定施設から排出される汚水等の汚染状態について、排出するおそれのある全ての種類・項目を記入し、種類・項目ごとの通常及び最大の汚染状態を記入する。

(10) 汚水等の量

通常及び最大の汚水量を記入する。

(11) その他参考事項

その他特定施設の使用の方法について参考となる事項を記入する。

別紙2

特定施設の使用の方法

工場又は事業場における施設番号	洗浄工程 表面処理施設(A-1)		洗浄工程 表面処理施設(A-2)		
特定施設番号及び名称	65酸又はアルカリによる表面処理施設		65酸又はアルカリによる表面処理施設		
設置場所	別添1のとおり		別添1のとおり		
操業の系統	別添2のとおり		別添2のとおり		
使用時間間隔	8時～17時 連続運転		8時～17時 連続運転		
1日当たりの使用時間	2時間/回×4回/日=8時間		2時間/回×4回/日=8時間		
使用の季節的変動	4月～10月 8時間/日 11月～3月 6時間/日		4月～10月 8時間/日 11月～3月 6時間/日		
原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日当たりの使用量	水酸化ナトリウム : 脱脂 3 kg/日 塩酸 : 酸洗い 5 kg/日 リン酸亜鉛 : 化成 8 kg/日		水酸化ナトリウム : 脱脂 3 kg/日 塩酸 : 酸洗い 5 kg/日 リン酸亜鉛 : 化成 8 kg/日		
汚水等の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
	pH (水素イオン濃度)	7.7	8.9	7.7	8.9
	BOD (生物化学的酸素要求量)mg/L	30	50	30	50
	SS (浮遊物質)mg/L	30	50	30	50
	Zn (亜鉛)mg/L	5	10	5	10
	Cu (銅)mg/L	5	10	5	10
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 mg/L	5	10	5	10
F (ふっ素) mg/L	30	50	—	—	
汚水等の量 (m ³ /日)	通常	最大	通常	最大	
	30	40	20	30	
その他参考となるべき事項	・原料にふっ素化合物が0.5%含有				

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

4 別紙3（汚水等の処理の方法）

(1) 工場又は事業場における施設番号

当該工場又は事業場内の全施設のうちから当該特定施設を特定するために当該工場又は事業場において用いている番号、名称を記入する。

(2) 特定施設の設置場所

特定施設の場所を記入する。（図面可）

(3) 設置、工事着手予定、工事完成予定、使用開始予定年月日

特定施設設置届出（新規）、特定施設の構造等変更届出（変更）にあつては、工事計画に基づき記入し、特定施設使用届出にあつては、使用開始予定を使用開始と訂正して実際に稼働した年月日を記入する。

(4) 種類及び型式

種類については、生物処理、物理化学的処理等処理の大別を記入する。
型式については、自動・半自動・手動の別、製造業者名、型式等を記入する。

(5) 構造

コンクリート製、鉄製、FRP製、地下式等構造の概要を記入する。

(6) 主要寸法

○m×○m×○m又は○m³等と記入する。

(7) 能力

処理水量○m³/日、○m³/時間等処理能力を記入する。

(8) 処理の方式

中和、凝集沈殿、加圧浮上、酸化・還元等の別を記入する。

(9) 処理の系統

処理の工程に従い、フローシート、使用薬品、水量等を記載する。

(10) 集水及び導水の方法

汚水等の集水及び処理施設までの導水方法を記入する。

例) 自然流下、塩ビ配管及びU字溝

(11) 使用時間間隔

特定施設の使用方法と同様に、連続○時～○時、1日○回等と記入する。

(12) 1日当たりの使用時間

前記同様1日当たりの使用時間を通算して記入する。

(13) 使用の季節変動

使用方法に季節的変動があれば記入する。

例) 冬期（12月～2月）は使用せず

(14) 消耗資材の1日当たりの用途別使用量

中和・凝集・酸化等、反応の用途別に1日当たりの薬剤等の使用量を記入する。

例) 中和用 カセイソーダ 20kg
凝集用 高分子凝集剤 30kg

(15) 汚水等の汚染状態及び量

対応する処理施設による汚水等の汚染状態について、排出するおそれのある全ての種類・項目を記入し、種類・項目ごとの処理前・処理後の通常値・最大値を記入する。

(16) 残さの種類、1ヶ月の種類別生成量及び処理方法

汚水等の処理によって生ずる残さの種類、1ヶ月の生成量（年平均値）及び処理残さの処理方法について概要を記入する。

例) 酸化鉄スラッジ 3.5t/月 活性汚泥スラッジ 10m³/月
焼却、業者引取（処理業者名）

(17) 排出水の排出方法

特定事業場のすべての排出口の数及び排出先（河川名、農業用水名、道路側溝等）を記入する。

(18) その他参考となるべき事項

残さの処理を業者に委託する場合、委託先の処理業者など、排水処理について参考となる事項を記載する。

別紙3

汚水等の処理の方法

工場又は事業場における施設番号		洗浄工程排水処理施設(No.1)							
処理施設の設置場所		別添3のとおり							
設置年月日		○年 ○月 ○日				○年 ○月 ○日			
工事着手予定年月日		年 月 日				年 月 日			
工事完成予定年月日		年 月 日				年 月 日			
使用開始予定年月日		年 月 日				年 月 日			
種類及び型式		物理化学的処理 ○○(株)製 ○○-○型							
構造		鉄筋コンクリート製地上式							
主要寸法		約10m×30m×高さ5m							
能力		100m ³ /日							
処理の方式		中和、凝集沈殿、砂ろ過							
処理の系統		別添4のとおり							
集水及び導水の方法		塩ビ配管							
使用時間間隔		連続							
1日当たりの使用時間		24時間							
使用の季節変動		無し							
消耗資材の1日当たりの用途別使用量		水酸化ナトリウム 5kg 塩酸 7kg 高分子凝集剤 5kg							
汚水等の汚染状態及び量	種類・項目	通常		最大		通常		最大	
		処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後	処理前	処理後
	pH (水素イオン濃度)	7.8	6.8	8.8	7.5				
	BOD (生物学的酸素要求量)mg/L	20	10	40	20				
	SS (浮遊物質)mg/L	50	20	100	30				
	Zn (亜鉛)mg/L	3	0.3	5	0.5				
	Cu (銅)mg/L	3	0.3	5	0.5				
	ノルマルヘキサン抽出物質含有量 mg/L	5	0.5	10	1				
	F (フッ素) mg/L	5	1	8	2				
	量 (m ³ /日)	50	50	70	70				
残さの種類、1月間の種類別生成量及び処理方法		・脱水ケーキ:5t/月 ・産業廃棄物として処理							
排出水の排出方法		放流口→○○用水路→○○川							
その他参考となるべき事項		・脱水ケーキの委託先 ○○県○○市 ○○○(株) 処分方法:固形化							

- 備考 1 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。
2 排水の排出方法の欄には、排水口の位置及び数並びに排水先を含め記載すること。

5 別紙4(排水水の汚染状態及び量)

(1) 工場又は事業場における施設番号

当該工場又は事業場内の全施設のうちから当該特定施設を特定するために当該工場又は事業場において用いている番号、名称を記入する。

(2) 排水水の汚染状態

対応する処理施設による排水水の汚染状態について、通常値・最大値を記入する。

(3) 排水水の量

対応する処理施設による排水量について、通常値・最大値を記入する。

(4) その他参考事項

当該排水処理施設と別紙1及び別紙2に記載された特定施設との関係、排水水の排水先の公共用水域など、排水水について参考となる事項を記入する。

別紙4

排水水の汚染状態及び量

工場又は事業場における施設番号		No1 排水口			
排出水の汚染状態	種類・項目	通常	最大	通常	最大
		pH (水素イオン濃度)	6.8~7.8	6.5~8.0	
	BOD (生物学的酸素要求量)mg/L	8	10		
	SS (浮遊物質)mg/L	20	30		
	Zn (亜鉛)mg/L	0.3	0.5		
	Cu (銅)mg/L	0.3	0.5		
	ルマルヘキサン抽出物質含有量 mg/L	0.5	1		
	F (ふっ素) mg/L	0.5	1		
排水水の量 (m ³ /日)		通常	最大	通常	最大
		70	90		
その他参考となるべき事項		(関連特定施設)表面処理施設(A-1、A-2) (排出先)放流口→○○用水路→○○川			

備考 汚水等の汚染状態の欄には、当該特定事業場の排水水に係る排水基準に定められた事項について記載すること。

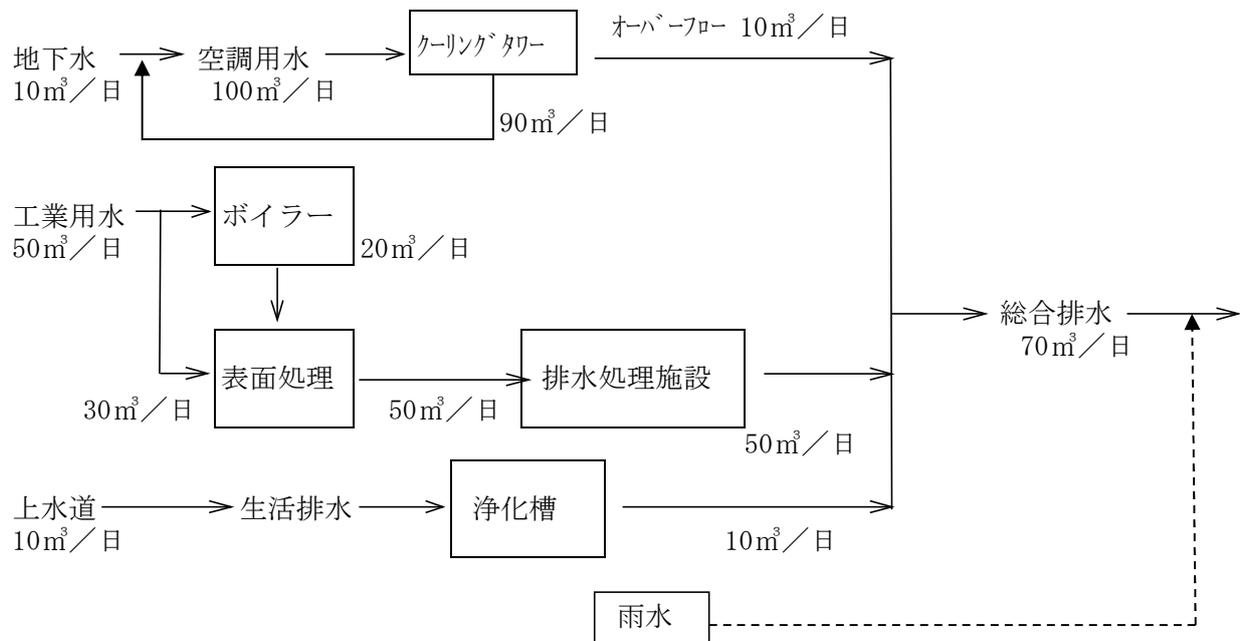
6 別紙6(用水及び排水の系統)

工場・事業場全体から排出される排水水について記入する。

(1) 用水及び排水の系統

用水及び排水の系統については、次の例の様に図化する。

例)

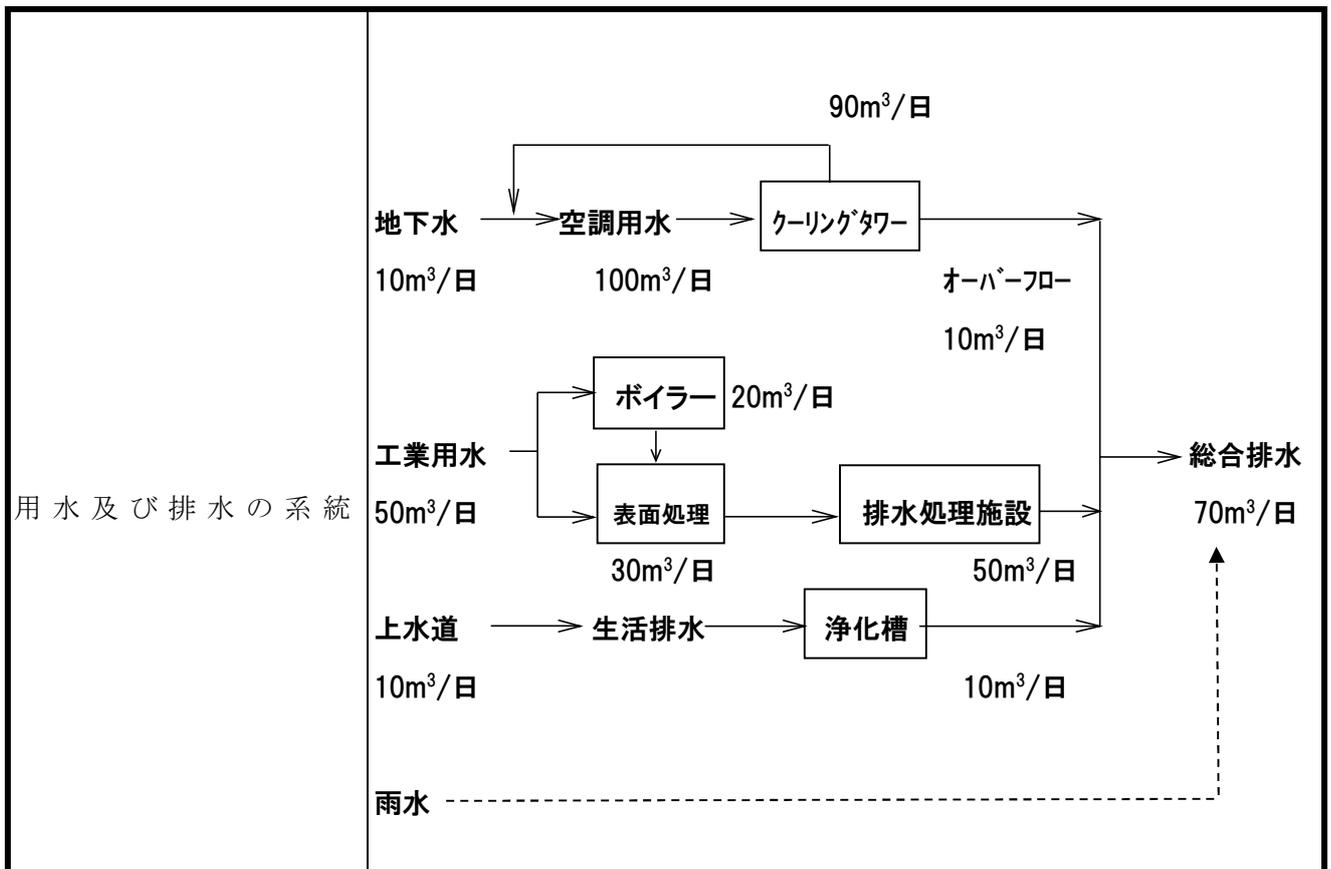


(2) 用途別用水使用量

用途別に使用水及びその量を記入する。

別紙6

用水及び排水の系統



用途別用水使用量	用途	使用水	用水使用量 (m ³ /日)
		空調用水	地下水
	ボイラー用水	工業用水	20
	洗浄水	工業用水	30
	生活排水	上水道	10

7 別紙7(有害物質使用特定施設の構造)

有害物質使用特定施設について、別紙1と同様に記入する。

8 別紙8(有害物質使用特定施設の使用の方法)

有害物質使用特定施設について、別紙2と同様に記入する。

9 別紙9(汚水等の処理の方法)

有害物質使用特定施設について、別紙3と同様に記入する。

10 別紙12(有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の構造)

- (1) 工場又は事業場における施設番号、型式、構造、主要寸法、能力、配置、設置年月日、工事着手予定年月日、工事完成予定年月日、使用開始予定年月日、その他参考となるべき事項

別紙1と同様に記入する。

- (2) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別

有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別を記入する。また、水質汚濁防止法令別表第一に掲げる項目の番号及び名称を記入する。

- (3) 床面及び周囲

施設の床面及び周囲の構造等を記入する。(防液堤については、容量を記載)

別紙1の参考事項 参照

11 別紙13(有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の設備)

有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の設備について、別紙1の2と同様に記入する。

12 別紙14(有害物質使用特定施設(有害物質貯蔵指定施設)の使用の方法)

- (1) 工場又は事業場における施設番号、設置場所、操業の系統、使用の季節的変動、原材料(消耗資材を含む。)の種類、使用方法及び1日あたりの使用量

別紙2と同様に記入する。

- (2) 有害物質使用特定施設又は有害物質貯蔵指定施設の別

別紙13と同様に記入する。

- (3) 使用時間間隔、1日あたりの使用時間

ア 有害物質使用特定施設については、使用時間間隔、1日あたりの使用時間を記入する。

イ 有害物質貯蔵指定施設については、それぞれ当該施設への有害物質を含む水の供給時における使用時間間隔、1日あたりの使用時間を記入する。

- (4) 貯蔵する有害物質の種類

貯蔵する有害物質の種類、濃度を記入する。

13 別紙15(用水及び排水の系統(搬入及び搬出の系統))

- (1) 施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統
(有害物質使用特定施設の場合に限る。)又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統
(有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。)

ア 有害物質使用特定施設については、可能な限りフローチャート化することにより、系統がわかるように記載する。系統の記載にあつては、有害物質を含まない(処理されたものを除く)ものについて記入はしない。

イ 有害物質貯蔵指定施設については、搬入、搬出に至る系統を記載する。

ウ ア、イとも図面等を添付し、床面、周囲、配管等、排水溝等及び地下貯蔵施設の構造等のほか、漏えい検知設備や点検の場所等もできる限り記載する。

別紙15

用水及び排水の系統

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>	<p><有害物質使用特定施設の場合></p> <p>水道水</p> <p>↓</p> <p>めっき工程（洗浄等）</p> <p>↓</p> <p>めっき排水処理装置</p> <p>↓</p> <p>排 水</p> <p>※用水及び排水の系統がわかる図面を添付</p>		
<p>用途別用水使用量</p>	<p>用 途</p>	<p>使 用 水</p>	<p>用水使用量(m³/日)</p>
	<p>めっき等工程</p>	<p>水道水</p>	<p>12</p>

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水使用量の欄には記載しないこと。

搬入及び搬出の系統

<p>施設において製造され、使用され、若しくは処理される有害物質に係る用水及び排水の系統（有害物質使用特定施設の場合に限る。）又は貯蔵される有害物質に係る搬入及び搬出の系統（有害物質貯蔵指定施設の場合に限る。）</p>	<p>＜有害物質貯蔵指定施設の場合＞</p> <p>○化学工場の例</p> <p>搬入：タンクローリーから供給 1週間に1回、1時間</p> <p>搬出：配管を通り、特定施設である○○施設に供給 連続供給、1日1000L</p> <p>○鍍金工場の例</p> <p>搬入：シアンを含む廃液を1日1回、○○を用いて施設に搬入</p> <p>搬出：産業廃棄物処理業者が用意したタンクに、ホースにて搬出</p> <p>※搬入及び搬出の系統がわかる図面を添付</p>		
<p>用途別用水量</p>	<p>用</p>	<p>途 使 用 水</p>	<p>用水量(m³/日)</p>

備考 有害物質貯蔵指定施設の場合には、用途別用水量の欄には記載しないこと。

〔7-(2) 定形的添付書類 参考事項の記載事項〕

1 届出等担当者(連絡先)

届出の内容について、県の照会等に対し受け答えのできる者の職氏名、所属、部課名、電話番号、FAX番号を記入する。

2 緊急時連絡先

事故等の緊急時における責任者及び代理者の職氏名、所属、部課名、電話番号、FAX番号を記入する。

3 公害防止管理者

公害防止管理者の選任の要、不要に○印をつけ、要選任の場合は、公害防止管理者の職、氏名及び有する資格又は試験の区分を記入する。

4 公害防止責任者

栃木県生活環境の保全等に関する条例に定める公害防止責任者の職、氏名を記入する。

5 従業員数

事業者が常時使用する従業員の総数を記入する。

6 主要製品名

届出事業所で製造される、主な製品、加工品、処理品等を記入する。

7 日本標準産業分類の小分類番号・項目

届出事業所の日本標準産業分類上の小分類番号・項目を記入する。

8 特定施設が関係する製造工程の概要

製造工程を図化し、特定施設の関係する工程を、例にならって記入する。
例) (表面処理)



9 特定施設等を設置する土地・建物等について

立地する用途地域、敷地面積、床面積等を既設の部分、新設の部分に分けて記載する。

10 排水先

排出する用水路名・河川名を記載する。複数の排出口があり、異なる用水路・河川に排出する場合には、その全てについて記載する。

11 公害防止協定

公害防止協定の締結の有無に○印を記入する。「有」の場合は、今回の届出に関して事前協議が必要であるか、また、必要な場合は協議済であるか、予定されているかを記入する。

12 周辺における公害苦情等の問題

周辺からの公害苦情で、解決していないものの有無、及び「有」のときはその区分に○印を記入する。

(7-(2) 定形的添付書類)

参 考 事 項

- 記載上の注意 1 届出等に係る工場・事業場の状況等について記載又は添付するものとし、番号は該当するものを○印で囲むこと。
 2 届出書及びその別紙に記載又は添付している事項については、あらためて記載又は添付を必要としない。

届出等担当 (連絡先)		氏名 ○ ○ ○ ○		所属 ○ ○ ○ 部		電話 ○ ○ ○ ○ - ○ ○ - ○ ○ ○ ○	
				部課名 ○ ○ ○ 課		FAX ○ ○ ○ ○ - ○ ○ - ○ ○ ○ ○	
公害防止管理者		選任 1 要 2 不要	選任要 のとき	職・氏名 ○ ○ ○ ○ ○		試験又は 水質 ○ 種 資格の区分	
公害防止責任者		職・氏名 ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○					
従業員数	○ ○ 人	主要 製品名	○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○ ○	日本標準産業分類の 小分類番号・項目		○ ○ ○ ○ ○	○ ○ 製造業
特定施設が関係する製造工程の概要 <div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">表面処理</div> <div style="margin: 5px 0;">↓</div> <div style="display: flex; justify-content: center; gap: 10px;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">材 料</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">→ プレス</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">→ 前処理</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">→ 塗 装</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">→ 仕 上</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;">→ 製 品</div> </div> </div>							
特定施設等を 設置する土地	用途 ○ ○ ○ ○	敷地 (既存面積	○ ○ ○ m ²)				
	地域	面積等 (新規・増加面積	m ² 登記地目)				
特定施設等を 設置する建物	新築 (床面積 m ²)	増改築 (床面積 m ²)	既存 [○ ○ 年 ○ ○ 月 ○ ○ 日]				
工場・事業場 当初設置年月日	年 月 日		水質関係特定施設 当初設置年月日	○ ○ 年 ○ ○ 月 ○ ○ 日			
排水先 (水質関係に係る届 出書に添付のときに のみ記載)	複数の排水先があり、異なる用水路・河川に排出される場合にはその全てについて記載すること 排水の排出先の用水路名 (○ ○ ○ ○ 水路) ↓ 排水の排出先の河川名 (○ ○ ○ ○ 川)						
公害防止協定	1 有 2 無	締結 のとき	今回の特定施設等の 届出に関する事前協議 2 不要		事前協議 1 協議済 要のとき 2 協議予定		
周辺における公害 苦情等の問題	現在解決して いない苦情 2 無	有のときは その区分	1 ばい煙	3 汚水	5 騒音	7 その他	()

その他、別紙として次の書類を添付する。

- 工場・事業場の平面図 (建物、施設等の配置状況を記載し、今回の届出施設を朱塗すること。なお、汚水に関する届出等については、排水の汚染状態を測定するための採水場所を記載、朱塗すること。)
- 工場・事業場の案内図 (工場・事業場に至る経路を記載すること。)
- ばい煙に関する届出書等については煙突立面図 (主要寸法及び測定孔の位置を記載すること。) 及び使用燃料の分析表
- 水質に関する届出書で特定有害物質を使用等する施設については、条例施行規則第17条の規定を遵守していることを明示した別添様式
- 有害物質使用特定施設、有害物質貯蔵指定施設については、構造基準を遵守していることが分かる図面、管理要領又は定期点検の方法が分かる書類

〔(7-2) 定形的添付書類)参考事項 別添様式の記載事項〕

水質に関する届出書で特定有害物質を使用等する施設については、条例施行規則第17条の規定を遵守していることを明らかにするため当該別添様式を添付する。

同一別添様式が2ページ以上になる場合、例えば2施設の場合は、ページ右肩に(No. 1/2)、(No. 2/2)のように記入する。

1 工場又は事業場における施設番号

別紙1に記入した「工場又は事業場における施設番号」のうち、特定有害物質を使用等する施設について記入する。

2 特定施設番号及び名称

別紙1に記入した「特定施設番号及び名称」のうち、特定有害物質を使用等する施設について記入する。

3 特定有害物質の種類

土壤汚染対策法第2条第1項に規定する特定有害物質の種類を記入する。

4 原材料等の製品名

特定有害物質を含有する原材料等の製造業者名及び製品名を記入する。

5 特定有害物質を含有する原材料等の使用方法等

特定有害物質を含有する原材料等の使用の方法、廃液・排水の処理方法等を記入する。

6 No.1 特定有害物質使用施設設置場所の床の構造及び材質

特定有害物質を使用等する施設の床の構造及び材質を記入する。また、床表面の材質については、使用する特定有害物質に対する不浸透性及び耐薬品性が分かるような資料を添付する。

7 No.2 薬液槽、水洗槽、原料置場、廃液置場等における防液堤または受槽の設置状況

特定有害物質を使用等する施設等の防液堤・受槽の設置状況を記入する。また、防液堤等の容量及びその容量に係る根拠についても記入する。

8 No.3 薬液槽、配管、排水処理施設等における漏洩等の有無の確認方法

特定有害物質を使用等する施設等について、漏洩等の有無の確認方法を記入する。また、地上設置以外の場合は、確認する場所なども具体的に記入する。

9 No.4 特定有害物質使用施設に係る配管の材質及び識別方法

特定有害物質を使用等する施設に係る配管の材質及び識別の方法を記入する。また、配管の材質については、使用する特定有害物質に対する耐薬品性が分かるような資料を添付する。配管を色により識別する場合、どの色が何を表しているかも記入する。

10 No.5 土壤汚染防止に係る点検項目と点検頻度

土壤汚染防止に係る点検項目と点検頻度を記入する。また、点検表等を添付する。

11 No.6 原料置場、廃液置場等の床の構造及び材質

原料置場、廃液置場等の床の構造及び材質について記入する。また、床表面の材質については、使用する特定有害物質に対する不浸透性及び耐薬品性が分かるような資料を添付する。

[7-(2) 定形的添付書類 別添様式]

特定有害物質の管理の方法

注1 土壤汚染対策法で定める特定有害物質を製造し、使用し、又は処理する水質汚濁防止法の特定施設及び条例の汚水に係る特定施設並びにそれに付随する施設（特定有害物質使用施設）について以下を記載すること。

- 2 栃木県生活環境の保全等に関する条例施行規則第17条で定める特定有害物質管理基準に適合させること。
- 3 特定有害物質使用施設、原料置場、廃液置場、配管、防液堤等の場所が分かる図面等を添付すること。

※ 図面等に、当該施設等の位置が分かるように明示すること。

工場又は事業場における施設番号	洗浄工程 表面処理施設A-1	特定施設番号 及び名称	65酸又はアルカリによる表面処理施設
特定有害物質の種類	ふっ素及びその化合物	原材料等の 製品名	製造:〇〇社 製品名:〇〇〇〇
特定有害物質を含有する原材料等の使用方法等	ふっ素化合物を含む薬剤は貯留槽から表面処理施設に送られる。 貯留槽の薬剤は〇月に1回交換し、廃液は産業廃棄物として処理する。 1次洗浄水及び2次洗浄水は、洗浄工程排水処理施設(No.1)で処理し、公共用水域に排出される。		
No	項目	現況又は特定施設設置（変更）後の状況	
1	特定有害物質使用施設設置場所の床の構造及び材質 (床表面の材質については、使用する特定有害物質に対する不浸透性及び耐薬品性が分かるような資料を添付すること)	別図及び別紙のとおり ※特定有害物質の使用施設の設置場所は、コンクリート構造であり、耐薬品のためエポキシ樹脂でコーティングされている	
2	薬液槽、水洗槽、原料置場、廃液置場等における防液堤または受槽の設置状況 (防液堤等の容量及びその容量に係る根拠についても記載すること)	別図のとおり ※薬剤貯留槽＋表面処理施設(容量 〇m ³) 1次洗浄槽＋2次洗浄槽(容量 △m ³) 防液堤(容量 (〇m ³ ＋△m ³)×1.2倍= □m ³)	
3	薬液槽、配管、排水処理施設等における漏洩等の有無の確認方法 (地上設置以外の場合は、確認する場所なども具体的に記載すること)	①薬剤貯留槽、表面処理施設、洗浄槽:地上設置 ②配管:塩ビ管をU字溝内設置 ③排水処理施設:地上設置 確認方法:1日に一度目視により確認	
4	特定有害物質使用施設に係る配管の材質及び識別方法 (配管の材質については、使用する特定有害物質に対する耐薬品性が分かるような資料を添付すること) (配管を色により識別する場合、どの色が何を表しているかも記載すること)	○配管の材質:塩ビ製 ○識別方法:系統別に色分けしたラベルに、汚水の種類及び流れの方向を明記する。 ○ラベルの色:酸系(赤)、アルカリ系(青)、ふっ素系(黄)	
5	土壤汚染防止に係る点検項目と点検頻度 (点検表等を添付すること)	別添点検表のとおり ※施設等からの漏洩の有無、薬剤の使用前後の量の点検薬剤、施設の稼働状況等	
6	原料置場、廃液置場等の床の構造及び材質 (床表面の材質については、使用する特定有害物質に対する不浸透性及び耐薬品性が分かるような資料を添付すること)	別図及び別紙のとおり ※特定有害物質の使用施設の設置場所は、コンクリート構造であり、耐薬品のためエポキシ樹脂でコーティングされている	
備考			